

## 今回のテーマ

# 白内障について

前は高脂血症予防についてご案内させていただきましたが、今回は白内障についてお伝えいたします。

白内障を罹患する人の数は年々増加しており、治療方法も進化しております。

### <白内障の種類>

先天性白内障	生まれたときから水晶体が濁っているタイプ。
加齢性白内障	年を重ねるに従って水晶体が濁っていくタイプ。 *白内障の90%を占めています。
併発白内障	ほかの目の病気に伴って発症するタイプ。
糖尿病性白内障	高血糖により、ソルビトールという物質が水晶体に蓄積して濁ってしまうタイプ。
皮膚病性白内障	皮膚病に白内障を合併するタイプ。
薬による白内障	ステロイド剤を長期間使い続けることにより水晶体の混濁を招くタイプ。
外傷性白内障	眼球に強い外傷を受けることにより生じるタイプ。

### <白内障の症状> こんな症状がでたら、ご注意ください！もちろん、個人差はあります。

目の中のレンズが濁ることにより、視力が低下して以下のような症状がでます。

- かすんで見える
- 明るいところへ出ると眩しく見えにくい
- どんなに調整しても眼鏡があわない
- ぼやけて二重・三重に見える

今回は患者が増加傾向にある、「白内障」の種類と症状について記してみました。

患者数が増加している病気に対しては、治療方法は、日々研究され、進化しています。

白内障治療も例外ではありません。

白内障の治療は、白く濁ったレンズを患者の眼から取り出し、新しい人工のレンズと入れ替える手術が行われます。健康保険適用の範囲の手術では、我々の本来備わっているレンズと同じ見え方をする「近くを集中して見ると、遠くはぼやける」レンズを挿入します。

しかし、最新の治療法は、(現時点では、残念ながら、健康保険適用外で患者の全額自己負担ですが)「近くに焦点を合わせても、遠くも同時に見ることが出来る」レンズを挿入します。

「多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術」と呼ばれるこの手術は、新潟県下の2つの病院においては、厚生労働省から、【先進医療】として認められています。両目で、平均80万円前後の治療費です。

最新の民間の医療保険では、【先進医療】による手術は、手術給付金の給付対象となっています。

(現時点では、「多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術」も、もちろん対象です。)

現在の保険の内容があっているのかご確認いただけたら幸いです。